

# 野洲青年会議所における 広報の在りかた

---

一般社団法人 野洲青年会議所

総務広報委員会

# 勉強会の目的

---

野洲青年会議所において、広報に携わる委員会の設置があるものの、現状では有効な資源（予算、ヒト）を最大限に活用できておらず、効果的な広報活動が出来ていない。特に、ヒトの資源においては、各個人のノウハウや発信スキルによって、効果も大きく左右され、効果かつ効率的な活動には至っていないのが現況である。

限りある野洲青年会議所のメンバー全員が、本来の広報の意味を深く理解したうえで、全員が相互扶助の関係を保ちながら広報活動を行うことで、今ある資源を最大限に生かした効果的な広報活動が期待できる。

よって、本勉強会は、野洲青年会議所全体の広報知識レベルの向上と個々のスキルアップを目的とする。

# 1-1) 広報の理解

---

## «Question»

### 広告と広報の違いとは??

#### ◆ 広告



新聞や雑誌、テレビなどの広告枠を買って商品や企業の宣伝を行うこと。

#### ◆ 広報



情報を受発信すること。新聞や雑誌などの媒体に記事として取り上げてもらったり、ステークホルダーに活動内容などを理解してもらうこと。

➡つまり、野洲青年会議所の広報とは、野洲市民全体や、事業協力者、協賛者等の関係者すべてに野洲青年会議所の活動を理解してもらうことと言える。

# 1-2) 広告と広報の整理

	広告	広報
発信方法	新聞やチラシ、TVCM・WEB CMなどの広告枠を使用して発信。	新聞や雑誌の記事、第三者による報道。
発信の決定権	広告主側	メディア側
情報の説得力	広告主側の主観性が高いため、説得力は低い。	第三者の客観性が伴うため、説得力は高い。

第三者を巻き込んだ宣伝活動

# 2-1) 広報の理解を深める

一般的な広報を広義で捉えると、“組織内外を問わない戦略的な広告アピールと情報共有”となります。

組織内

組織外

広報の輪

- ・ 社内報誌、回覧紙などの紙面
  - ・ SNS、LINE、メルマガなどのデジタル文書
- 社内情報連携、ならびに組織力の向上

- ・ 新聞や折り込みチラシによる告知
  - ・ 取引先への広告掲示、SNSいいね、LINE@、メルマガなどをつかったファン作り
  - ・ 地域雑誌等への記事掲載の依頼
- 社外のファンを増やし、多馬力による口コミ効果を狙う。

## 2-2) 充足された広報の効果

---

効果①

### 対外事業の規模の拡大

---

認知度がアップし賛同者が増加すれば、事業参加者や協力団体の拡大に繋がる。また、メディアなどに取り上げられる可能性も高まり、組織活動もしやすくなる。

効果②

### 対内の活性化

---

組織や事業の認知度が高まることで、メンバーやその家族にも組織団体に対する理解が深まる。対内の情報共有も簡易になる。

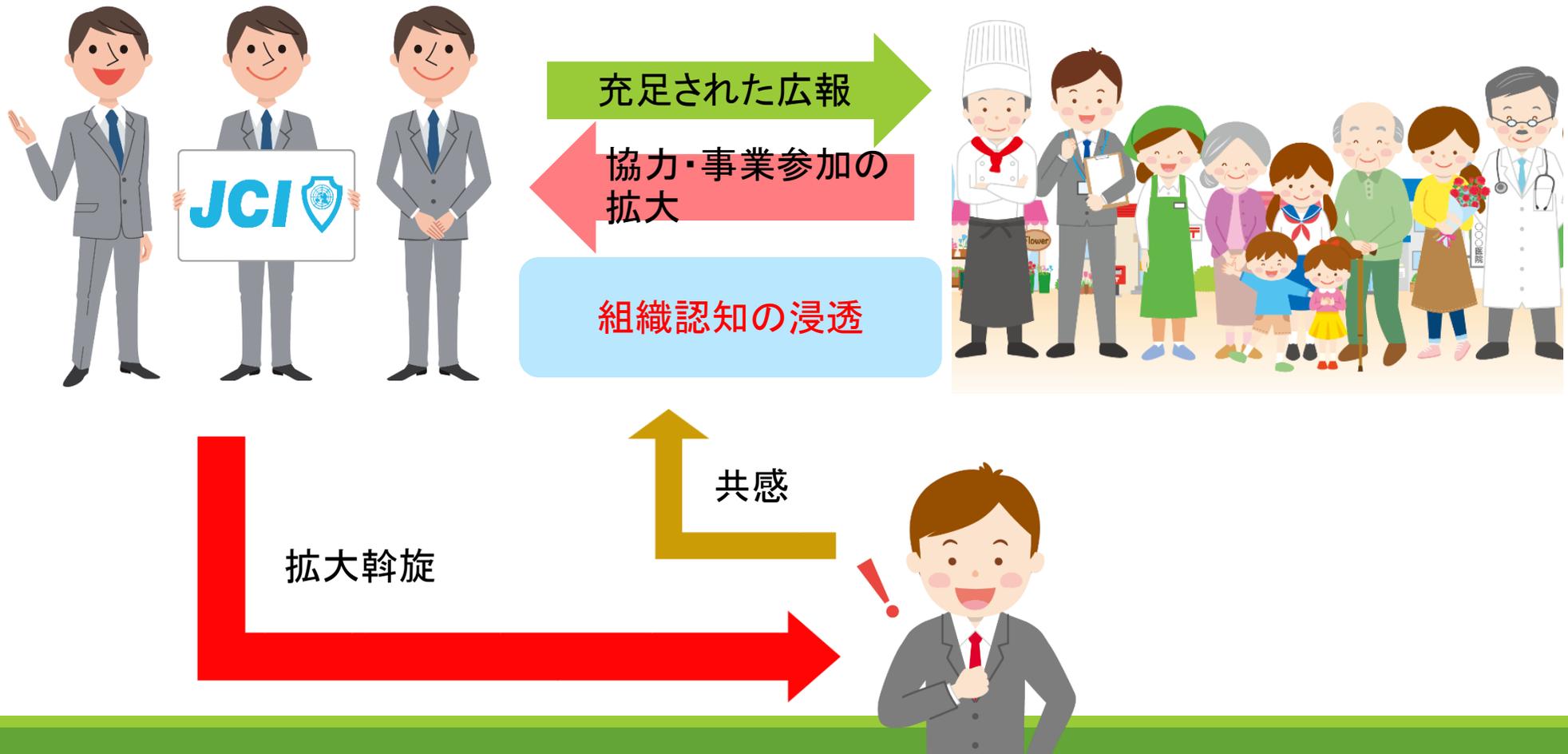
効果③

### 優秀な人材の採用

---

組織の理念や雰囲気などの地域浸透により、応募者が増加するだけでなく、野洲青年会議所の雰囲気に合った適切な人材が集まるようになる。

# 2-2)イメージ図



# 1-4) 野洲青年会議所の広報状況

手法	現況	課題
広告チラシの配布	担当委員会のメンバーが学校等の対象に案内を実施。 (おおよそ、3～4名人力の人海戦術によるもの)	野洲青年会議所のメンバー全体のみならず、地域ファンを増やしたうえで、地域協力を得ながら多馬力で広報する環境＆関係を築くことが課題。
ホームページ上での案内	新着情報の掲載に留まっている状況。	タイムリーな記事掲載と、統計に応じたSEO対策が取れる環境を構築することが課題。
Facebook案内	事案毎に投稿できているが、「いいね数（配信先数）」が271人とかなり少ない状況。 ※参考 住所を野洲市として登録しているFacebookユーザー数は、3352人。	「いいね＆フォロー」の数を増やすための動きと、「いいね＆フォロー」を押してもらおうような記事の書き方と写真の撮り方を学ぶ必要がある。

## 3-1) 今後の広報戦略

---

野洲青年会議所の更なる発展を目指し、総務広報委員会として『今後の広報戦略』を以下の通り提示するとともに、相互協力のもと全員が同じレベルで広報活動に取り組んで頂くよう、お願い申し上げます。

※なお、本戦略は広報における恒常的な考えを纏めております。本年度のみの施策ではなく、今後も引き継がれるべき広報の基本理念として打ち出しております。

### ◆ 広報戦略理念 ◆

**野洲青年会議所が一丸となり、  
全員が能動的かつ積極的な広報活動を実施する。**

## 3-2) 具体的行動

項目		具体的手法案	対応	主管
①	対内の情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリング</li> <li>・文書提出</li> </ul>	野洲青年会議所の各委員長や、その他キーパーソンへのインタビューを定期的（月1回等）に実施し、全体の動きを把握したうえで包括的な情報発信ができるよう、情報収集に努める。	総務・広報委員会
②	対内への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対内報の拡充</li> <li>・グループLINEの有効活用</li> <li>・回覧板の新設</li> </ul>	①で収集した情報を整理したうえで、対内全体への配信資料として纏める。	総務・広報委員会
③	対外用ツールの整理	i) 入会案内の刷新	時期や年度に左右されにくい入会案内へと改定する。	総務・広報委員会
		ii) メルマガ、LINE@等の一般向け配信サービスの検討	広告の発信先確保の一環として、一般向けのオンラインツールを用意する。	総務・広報委員会
		iii) Facebookアカウントの共有化	誰もが記事を投稿＆編集できるよう、全員がアカウントを保有する。	全体

項目		具体的手法案	対応	主管
	(続き) 対外用ツールの整理	iv) プレスリリース対応の手順書作成	プレスリリースが、タイムリーに行えるよう、手順書を準備しておく。	総務・広報委員会
		v) ホームページ環境のアップグレード	正確な統計情報が取得できる環境を用意し、時流に合わせたSEO対策を講じる。 (Wix有料版等)	総務・広報委員会
④	対外への広報活動	Facebook投稿の拡散、およびシェア、いいね推奨の積極化	(1)メンバーが新規投稿した記事の拡散を目的として、全メンバーがシェア機能を活用する。(友人への公開) (2)ファンを増やすための方法として、「いいね」依頼を実施する。	全体
		写真撮影スキルの醸成	いわゆる“インスタ映え”するような印象的な写真が撮れるよう、(勉強会の開催等にて) 個々のスキルアップを図る。	全体
		名刺 2 枚渡しの推奨	野洲青年会議所の認知度アップを目的に、JC活動の時だけでなく、普段の日常生活においてもJC名刺を配る努力をする。	全体
		チラシ配布の全体協力	多馬力での広報を狙い、全メンバーにてチラシ配布を担う。知り合いや、市内店舗や団体への掲載協力を依頼する。	全体
		配信サービス登録の推奨 (配信サービス構築後)	広報効率化を狙い、オンライン広告を実施する。	総務・広報委員会

# まとめ

---

広報戦略は、基本的に経営戦略に従うもので、組織全体の経営戦略体系に大きく影響を受けるものです。

主には総務・広報委員会が中心となって戦略を策定することが多いですが、対内外に向けた広報という全社的視野を踏まえ、さらには野洲青年会議所全体の経営戦略への影響をも想定しつつ、組織全体としての「広報機能」をどのようにつくり、どのように運営するかという視点をもって策定されなければなりません。

- (1) 広報は、一方通行の“発信”ではなく、対内外を含めた“コミュニケーション”が主体となった宣伝活動である。**
- (2) 野洲青年会議所の資源状況を考えると、全員で取り組まなければ、効果的な広報には繋がらない。**

**この二点を踏まえ、今後の野洲青年会議所の発展を願い、全員で更なる活躍を勝ち取りましょう。**